

# 連携強め難局打開へ

前澤工業代表取締役社長 松原 正

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々やそのご家族、関係者の皆さまに慎んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。



新型コロナウイルスは瞬く間に全世界に拡がり、日本政府においても改正新型インフルエンザ等特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出や夜間の外出など移動を自粛するよう求められ、人々の生活を一変させました。現在では宣言は解除された

ものの、新規感染者は世界中で増加傾向にあり、日本でも感染再拡大の予兆が見られ、第二波への警戒が継続して求められております。

極的に取り組んでまいりました。また、今回の感染症に伴う制限行動が従来の事業継続（BCP）では想定していなかったことが明らかになり、まず命を守ることを最優先として初期判断を行い、手探りの中でどうにかこの第一波を凌いだのが事実であります。

われわれが携わっている水道は、国民の生活や社会経済活動の基盤として当然のこと、感染予防のための手洗いや医療活動にも必要不可欠であり、安全で安心な水道水を提供し続けなくてはなりません。また最近では、活発な梅雨前線が全国各地で豪雨災害を発生させるなど、新型コロナウイルスへの対策をしつつ自然災害への対応も求められる非常に難しい局面を迎えています。

この危機的状況を乗り越えるためには、水道事業者の皆さまとわれわれ民間企業が今まで以上に連携を強め、Withコロナの新しい日常において、生活と企業、社会をいかに連携させていくべきか、そしてICT技術等を活用した新たなツボンの水道事業のあり方を模索していく必要があると考えます。マエザワは使命感を持って皆さまと共に、この難局を乗り越えたいと考えております。